

10円玉消えた！ 児童が理科実験

【浦幌】上浦幌中央小学校(野上泰宏校長、児童39人)で6日、おもしろ理科教室が開かれた。

上浦幌公民館(鈴木信男館長)の主催。NPO教育支援協会(帯広)の内山晶子理科実験運営部長が講師を務め、「消える10円玉」「水に入れると絵が消える」「透視



水を入れた袋に鉛筆を刺す児童

マジック「水袋がハリネズミ」の4つの実験を行った。水入り袋に鉛筆を刺しても袋が破れない実験では、恐る恐る鉛筆や竹串を刺す児童もいた。5年生の山内一馬君(10)は「オリジナルのカードがうまくでき、水に入れると消え楽しかった」と実験の感想を述べた。

内山講師は「同じ実験を違うものを使って試してみることが重要。きょうの実

験を家でもやって、家族を驚かせて」と話した。

(広橋基嗣通信員)